

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/15号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



## 【ゴールドマーケットの現状】

### とりあえず高値到達で利食い先行か？

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



前々週ドル建てでも円建てでも損切買いによって一瞬つけた歴史的な高値を境にとりあえずの高値をつけて落ち着いた感じになりました。それ以前はどこまで上がるか見当がつかないというマーケットだったのですが、とりあえずの高値は達成したという感じです。前週は週後半にかけてドルの戻しに対して貴金属全体に利食いの売りが広がりました。ドルインデックスは102.70とほぼ一カ月ぶりのレベルまで上昇、ちなみに一カ月前にドルインデックスがこのレベルにあったときにゴールドは1980ドルであったので、2000ドルを割らないレベルを保っているゴールドは堅調だと思うべきでしょう。ゴールドの下値を支えているのは、いまだにぬぐえない米国の銀行不安そして共和党のと合意の目途が未だにたたない債務上限問題です。最悪のシナリオは地銀のさらなる破綻と債務上限問題が6月までに合意に達せずに連邦政府が機能不能になること。そうなると安全資産としてのゴールドにはふたたび資金が流入し、歴史的な高値をうかがう動きになるでしょう。一方、FRBの金融政策は5月は市場予想通りに0.25%の利上げとなり、大方の見方では来月はおそらくもはや金利上げはなく据え置きというふうに見られています。ただし、FRB理事の中には「インフレがこのまま高レベルを保ち、雇用マーケットが好調を保つのであれば、さらなる金融引き締め（金利上げ）と長期間その金利を高く保つことによってインフレを下げ、強い雇用を継続するという政策が必要。」と述べる理事もおり、6月は金利上げをとりあえず行わない（ただし金利は維持）と匂すFRB議長とのほざまでマーケットは果たしてどちらになるのか悩み深い状況です。おそらく夏過ぎでもコアインフレ率が5%を超えているのであれば（4月は5.5%）、FRBとしてもさらに「タカ派」的にならざるを得ず、それはさらなる金利上げ、そしてそれはゴールドにとっては逆風となりえるでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

## 金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

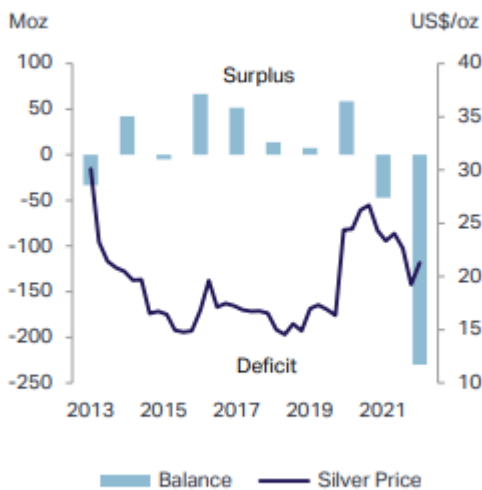
## 【マーケット・トピック】

## 「World Silver Survey 2023」

先日The Silver Instituteより「World Silver Survey 2023」が発表されました。貴金属の需給レポートでは、もっとも権威ある「Metals Focus社」が作成したものであり、業界の指標的存在だと言っていいでしょう。ゴールドはGold Focus、PGMはPGM Focusという名前で毎年発表され、シルバーはこのWorld Silver Surveyとなっています。ちなみにシルバーは4月に、PGMは5月半ばのロンドンプラチナウィークに合わせて、ゴールドは6月に発表されます。今回の最大の注目点は2022年は大きな供給不足であったことです。7393トンという供給不足は確認できる史上最大の数字です。そして、より大きな驚きは、これだけの供給不足にも拘わらず、価格が大きく上昇するどころか、逆に前年2021年に比べてLBMAシルバー価格の平均は14%低い21.73ドルとなったことです。これは価格の動きが必ずしも需給を反映してものではなく、FRBの金利上げを材料に機関投資家がシルバーをETFおよび先物市場で売り越したためでした。現在その巻き戻しが入っており、一時26ドル越えまでシルバーは上昇しました。

(シルバーの需給バランスの推移)

## Market Balance



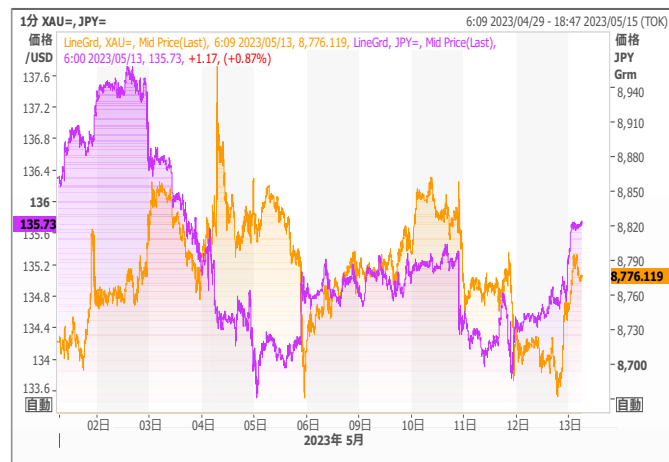
Source: Metals Focus, Bloomberg



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

